

令和2年度 第1回県内学事視察

「徳島県GIGAスクール構想」を推進する上で中核的役割を担う実証研究のモデル校の1つである高志小学校を視察しました。

令和2年12月16日(水)
上板町立高志小学校



授業視察

1年生



- 入学後、生活科で学んできたことを前のモニターに映して振り返り。



学習アプリケーションを介して、即座に児童と授業者の間で情報を共有し、双方向の学習につなげている。

6年生



- 二十四節気から冬に合う言葉を選択し、そこからイメージする言葉を辞書などからより多く集める。端末内でその言葉を整理・分類して詩をつくる。

2年生



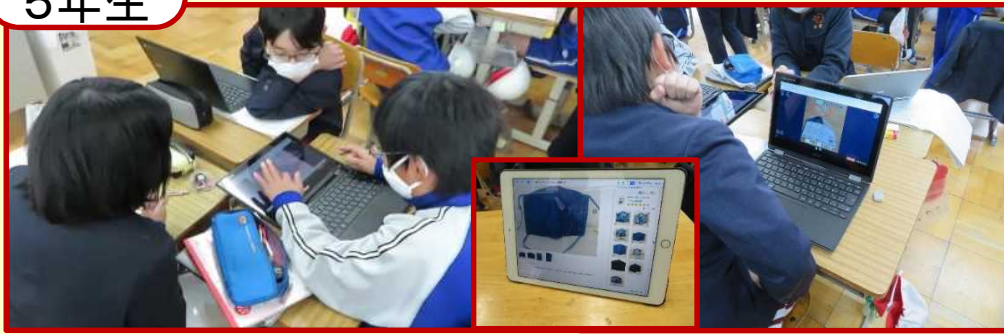
- 好きなおせち料理を、各自の端末内でランキングし、それを前のモニターに映しながら自分の意見を発表。

4年生



- グループで、食品ロスが少なく、自然エネルギーを活用する等のレストランのコンセプトを考え、そのレストランを仮想空間上に建設。良い点や改良すべき点について意見交換を行う。

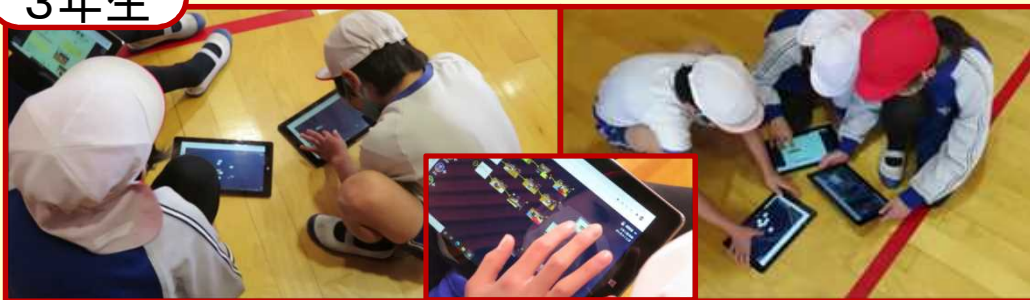
5年生



- 制作した藍染マスクをハンドメイド品の販売サイトで実際に販売。もっと多くの人たちに買ってもらうためのアイデアをグループで考える。

体験的学習や体育にもICTを活用することで、広い世界とつながったり、俯瞰的な視点を持って学ぶことができる。

3年生



- 自分が跳び箱を跳ぶ姿を端末で撮影し、動画で自分の跳ぶ姿を見ながらもっと高く跳ぶためにどうしたら良いかを考えていく。

学校概要説明等



令和の学びのスタンダードづくりを

教育委員から、

- ・ICTを活用し、児童が主体的に学習に取り組んでいた。高志小学校のカリキュラムや学習活動を他校が参考とできるよう、効果的に発信して欲しい。
 - ・学校長のリーダーシップのもと、教員が一体となってICTの活用方法の研鑽を積んでいることがよく分かった。
 - ・どの児童も積極的に学習活動に参加できていた。「誰一人取り残すことなく」というGIGAスクール構想の方向性に沿った取組である。
- などの意見がありました。